事業所自己評価シート

公表日 令和5年3月24日

職員による自己評価

A環境面

曜日により狭いと感じることが多々ある為、利用 者が1か所に集まらないよう、分散して遊ばせて いる。バリアフリー化されてない。

B児童への支援内容

季節ごとの壁面製作は固定化しないよう努めている。小学生低学年向けのプログラムが多いため それ以上の学年向けのプログラムも検討したい。

C関係機関との連携

基幹センターや区役所のワーカーと連絡を密に している。

D保護者への説明責任・信頼関係

面談を半年に一度行っている。何かあればすぐに 保護者に連絡をしている。今年度は保護者会が開催できた。今後も保護者との交流を増やしたい。

E非常対応

保護者の携帯に連絡

保護者による評価

A環境面

バリアフリー化されていないところがある。

B児童への支援内容 特になし

C事業所からの情報発信面談を半年以内に行っている。2022年度保護者会、二回開催。

D非常対応 問題なし

事業所内での分析

【共通点】

バリアフリー化されていない。

【相違点】

活動プログラムに関して、日々の活動でイベント的なことをしているがお知らせなどをしていないので 保護者にはあまり知られていない。

事業所の強み

生活スキルを身に着けるための取り組みを行 える環境は整っている。

環境面を整えたことにより、遊びスペースが増えたり、少人数での活動スペースができた。利用者の特性に合わせた活動ができるようになった。(音楽活動やバランスボールを使った活動、製作、作業など。)

遊びを通して利用者同士の関りが増え、コミュニケーション能力の向上にもつながった 文庫第2と併用利用することで学習面に対しても力を入れることができた。

事業所の改善点

スタッフのスキルアップの為の研修会など。 ホームページの更新をこまめに行う。 それぞれの利用者の特性に合った支援の見直 し。

事業所の改善への取り組み

保護者のニーズに合った支援を今後もできるだけ提供していきたい。 意思決定支援に取り組んでいきたい。

~自己評価を行っての事業所としての感想など~

保護者から高評価をいただけたと思います。今後も今回同様の高評価をいただけるよう、個々の特性を理解 し、保護者のニーズに合わせた支援をしていきたいと思います。

事業所名プレップサポートセンター金沢文庫担当者丸山希和